

平成20年度 新聞記事等一覧 (3月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1	3月1日	広報ふちゅう	4面 ひろば 東京農工大学リサイクル市に提供できる生活用品を募集	東京農工大学ごみダイエツNOKOが、リサイクル市用の不用となった家具や電化製品を募集することの案内。	ごみダイエツNOKO	
2	3月1日	日経ものづくり	p17-p19 多視済済 常識は覆される	東京農工大学が、森林総合研究所や長岡技術科学大学と共同で、接着強度が、エボキシ系接着剤の約3倍に相当する飛び抜けた性能を持つ接着剤の開発に成功したことを発表。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院	重原 淳孝 教授 片山 義博 教授
3	3月2日	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略42 マザー工場、変わる役割	東京農工大学林教授が、自らの著書「マザー工場戦略」を取り上げ、技術のたな卸しを行い、残すべきDNAを可視化し、利点を生かせるコラボ先を見つけ、1+1=3の枠組みを見いだすことが、市場創造の第一歩であると解説。	技術経営研究科	林 志行 教授
4	3月2日	毎日新聞(夕刊)	2面 特集ワイド 就農 プームというけれど… 食べていくには… 「覚悟が必要だ」	東京農工大学梶井名誉教授が、雇用不安の中での就農プームについて解説。		梶井 功名 名誉教授
5	3月6日	日刊工業新聞	23面 MOTセミ VSN	東京農工大学専門職大学院技術経営研究科が株式会社VSNと共同で、第4回MOT(技術経営)セミナー「これからのプロジェクトマネジメント―産学連携の研究開発分野における新しいプロジェクトマネジメント手法」を開催し、東京農工大学亀山研究科長が講師を務めることのご案内。	技術経営研究科	亀山 秀雄 技術経営研究科長
6	3月9日	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略43 「すぐ分かる」直感力のデザイン	東京農工大学林教授が、公共の場で事件事故や自然災害が発生したときに、スムーズに人を誘導できるような仕組み、直感的な流れを作ることが不可欠であることから、モノづくりにおいても直感的に「すぐ分かる」デザインが重要であり、東京農工大学MOTの講義においても「もっと、おおまかに、つかめ」と伝授していると解説。	技術経営研究科	林 志行 教授
7	3月10日	日刊工業新聞	23面 大学院 女性教員 東京農工大が採用促進 特任助教の件費 専攻に追加支給	東京農工大学が、大学院の各専攻で常勤女性教員1人を採用した場合、特任助教1人分の人件費を追加支給する支援策、「農工大ポジティブアクション1プラス1」を発表。	女性キャリア支援・開発センター	宮浦 千里 センター長
8	3月10日	nikkei BP net	web 電子部品 「充放電はわずか12秒」、東京農工大がエネルギー密度3倍の電気2重層キャパシタを開発	東京農工大学直井研究室と東京農工大学大学院「キャパシタテクノロジー講座」が、単位体積あたりのエネルギー密度が20Wh/lの電気2重層キャパシタ「ナノハイブリッド・キャパシタ」を開発したことを発表。	共生科学技術研究院 工学府	直井 勝彦 教授 玉光 賢次 客員教授
9	3月11日	毎日新聞 (東京・多摩版)	23面 農工大に育成施設 ベンチャー11社入居 小金井	東京農工大学小金井キャンパスに、大学や地域発のベンチャー企業を育成するインキュベーション施設「農工大・多摩小金井ベンチャーポート」がオープンし、そのセレモニーが開かれたこと、および、東京農工大学小畑学長のコメントが掲載。	学長	小畑 秀文 学長
10	3月11日	日刊工業新聞	24面 ナノ材料使いキャパシター 蓄電容量 3倍に向上 東京農工大 日本ケミコン	東京農工大学大学院と日本ケミコン(株)による寄附講座「キャパシタテクノロジー講座」が、蓄えられる体積あたりの電力量(エネルギー密度)を従来より3倍に高めたキャパシターを共同で開発したことを発表。	共生科学技術研究院 工学府	直井 勝彦 教授 玉光 賢次 客員教授
11	3月11日	日刊工業新聞	25面 中小機構が育成施設開所 東京農工大などと連携	東京農工大学が、中小企業基盤整備機構などと連携し、ベンチャー企業や中小企業の新事業育成を図る施設「農工大・多摩小金井ベンチャーポート」を開所し、東京農工大学発ベンチャー企業、(株)アルマイト触媒研究所など、11社が入居したことを紹介。	学長 技術経営研究科	小畑 秀文 学長 亀山 秀雄 教授
12	3月11日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	10面 リチウムイオンキャパシター 蓄電容量3倍に 東京農工大など	東京農工大学直井教授と日本ケミコン(株)などの研究チームが、従来の三倍の電気を蓄えられる新型のリチウムイオンキャパシターを開発したと発表。	共生科学技術研究院 工学府	直井 勝彦 教授 玉光 賢次 客員教授
13	3月11日	化学工業日報	5面 エネ密度、EDLCの3倍 ナノハイブリッドキャパシター開発 東京農工大、日本ケミコンなど 負極にナノLTO	東京農工大学直井研究室(東京農工大学直井教授)と日本ケミコン(株)、東京農工大学発ベンチャー「ケー・アンド・ダブル」が、1 <sup>cc</sup> 当たり30 <sup>Wh</sup> 時と、電気2重層キャパシター(EDLC)の3倍のエネルギー密度を持つナノハイブリッドキャパシターを開発したと発表、および、東京農工大学直井教授、東京農工大学玉光客員教授(日本ケミコン(株)による寄附講座「キャパシタテクノロジー講座」)のコメントが掲載。	共生科学技術研究院 工学府	直井 勝彦 教授 玉光 賢次 客員教授
14	3月11日	電波新聞	2面 東京農工大 「ナノハイブリッドキャパシタ」の開発に成功 3倍のエネルギー密度達成	東京農工大学直井研究室と東京農工大学大学院「キャパシタテクノロジー講座」(日本ケミコン(株)の寄附講座)が、ナノ結晶チタン酸リチウムを負極に使用することで、安全性、信頼性を維持したまま現行の電気二重層キャパシタに比べ、3倍のエネルギー密度を達成するなど、大幅に高性能化した新型デバイス「ナノハイブリッドキャパシタ」の開発に成功したと発表。	共生科学技術研究院 工学府	直井 勝彦 教授 玉光 賢次 客員教授
15	3月16日	日刊工業新聞	29面 未来思考 経営戦略44 ローテク&ローコストで売る	東京農工大学林教授が、取引したい相手に提案を聞いてもらうためには、いかに相手の懐に入りこむかが重要であり、相手方を含めたインシヤルコストを低く抑え、有効活用できる本業スキルをにじませる知恵が必要だと解説。	技術経営研究科	林 志行 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
16	3月18日	東京新聞 (地域の情報・多摩版)	24面 進学EXPO2009 有楽町で28日	東京農工大学が東京新聞主催、東京都・埼玉県など後援の「進学EXPO in 有楽町」に参加することを紹介。	
17	3月19日	朝日新聞 (多摩版)	33面 桜守の会など 都公園協会賞 小金井	東京農工大学農学部地域生態システム学科を3月卒業の袖木氏が、江戸時代に玉川上水沿いに植えられ、国の名勝に指定されているヤマザクラ「小金井桜」の状態を調査し、第44回都公園協会賞の優秀賞を受賞したと紹介。	農学部 袖木 英恵 氏
18	3月20日	日本経済新聞 (東京・首都圏経済版)	27面 多摩の断面 四国・北陸企業と交流会(TAMA協会) 独自技術で広域連携 相互補完し商機探る	TAMA協会(古川会長)が、多摩地域で域外の企業との連携を探る動きとして交流会を催し、首都圏西部の枠を超え、連携の網を広げていると紹介。	技術経営研究科 古川 勇二 特任教授
19	3月20日	科学新聞	8面 科学技術映像祭で優秀作品決定 最高賞に「黒い樹氷」RKB毎日放送が製作	東京農工大学伊豆田教授が制作に協力したTV作品『黒い樹氷～自然からの警告』が、日本科学技術振興財団などが主催する、科学技術映像祭の最高賞となる内閣総理大臣賞を受賞したと紹介。	共生科学技術研究院 伊豆田 猛 教授
20	3月21日	広報ふちゅう	5面 ひろば 東京農工大学リサイクル市	東京農工大学ごみダイエツNOKOが、リサイクル市で家具や家電のリサイクル品を販売することの案内。	ごみダイエツNOKO
21	3月23日	日刊工業新聞	25面 未来思考 経営戦略45 熱気帯びる大阪北ヤード	東京農工大学林教授が、JR大阪駅北側に広がる梅田貨物駅跡地の再開発事業「北ヤードナレッジキャピタル」について、次世代の技術者の卵(子供たち)に理系教育を早めに行うための可視化を目的の一つにしているために、週末などに開放することで、より効果的なPRが出来たのではないかと解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
22	3月24日	日刊工業新聞	34面 化学物質・生物の安全管理 早大が専門家育成 「研究所」立ち上げ 来月、公開講座	東京農工大学が、早稲田大学が掲げる健康科学の分野で連携する大学の一つとして紹介。	工学府 竹山 春子 客員教授
23	3月25日	日刊工業新聞	30面 価格 攻防 奨学金 引きつけ策に 学部生・博士支援で「早慶戦」	東京農工大学などが、08年度に博士学生の経済支援を始めたと紹介。	

追加記事等

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1	2月22日～ 2月28日	J:COM東京	テレビ	Hometown 府中・小金井・国分寺	2月13日～2月19日まで、東京農工大学科学博物館友の会が主催した「第28回サークル作品展～伝えたい手わざの心」の様子を紹介。	科学博物館	朝倉 哲郎 館長
2	2月24日	岐阜新聞 (web)	web	岐阜大など18国立大学、遠隔講義システム導入	東京農工大学など全国18国立大学で構成する大学院連合農学研究科が、国の学術情報ネットワークを活用した新たな「多地点制御遠隔講義システム」を導入し、6つの連合大学を双方向で結んだ開設式を行ったこと、および、東京農工大学に新システムのサーバーが設置されていることを紹介。	連合農学研究科	国見 裕久 連合農学研究科長
3	2月24日	中日新聞 (web)	web	ネットで講義をどこでも 岐大などの連合大学院がシステム開設	東京農工大学で開催した「多地点制御遠隔講義システム開設式」の内容が掲載。	連合農学研究科	国見 裕久 連合農学研究科長
4	2月27日	読売新聞 (地域・多摩版)	32面	18国立大遠隔講義 新システム開設式	東京農工大学が、全国18国立大学を結ぶ「多地点制御遠隔講義システム」の開設式を行い、東京農工大学小畑学長が挨拶し、東京農工大学濹澤教授らが記念講演を行ったことの紹介。	学長 連合農学研究科 共生科学技術研究院	小畑 秀文 学長 国見 裕久 連合農学研究科長 濹澤 栄 教授
5	2月27日	読売新聞 (地域・多摩版)	33面	緑のカーテン 全市立小中で 府中 コーヤ、子供が世話 環境学ぶ 農工大・NPO 管理指導や道具提供	東京農工大学が、府中市教育委員会やNPO法人と連携し、東京農工大学荻原教授の指導の下、農学部OBが勤務する飼料会社から種の無償提供を受け、新年度から全市立小中学校33校の校舎窓際にコーヤの茎を絡ませるネットを立てかけ、「緑のカーテン」を作ること計画していること、および、東京農工大学荻原教授の解説と、東京農工大学学生活動支援センター田中推進員のボランティア学生募集に関するコメントが掲載。	共生科学技術研究院 学生活動支援センター	荻原 勲 教授 田中 康友 推進員